

回答書の送付ありがとうございます。17日はこちらでワークショップを主催することとなり、そちらに出席できませんが、回答書を拝見して、以下の疑問、問題を先に提起しておきたいと思います。

1。景観計画にて、駅景観拠点及び商業・業務景観ゾーンでは、「賑わいと秩序のある景観の形成を図る」、「ゆとりと潤いのある景観の形成を図る」、「圧迫感の軽減を図る」といった方針がありますが、景観及びまちづくりの観点からどのように適合していると考えているのかお考えをお示しください。

これに対して、適切に回答しているとは言い難い。その回答は小手先のことがらで、「賑わいと秩序のある景観の形成を図る」、「ゆとりと潤いのある景観」の形成を図る」、「圧迫感の軽減を図る」 どれだけ効果をなしているか、疑わしいものであり、シミュレーション画像なりで、周辺住民も納得する景観への配慮の説明会をして、納得してもらわないと、こういう言葉の言い回しの説明で「はいそうですか」というわけにはいかないでしょう。

「データセンター運用時のセキュリティの観点から、低層部に関係者以外の方がアクセスする計画とすることは難しい」とこの回答が土地利用上もこの賑わいをつくるべき土地に、このような施設を建設する矛盾を示している。そのこの意味を含めて、この困難な課題をどのように計画的に処理するか、もっと譲歩した対応が求められる。例えば、市民が入ることができる内側とは区切りがある公開空地的なスペースを提供することも、開発利益を考えたらありうるであろう。

2。 また、鳥害等の発生を抑制する観点からも、樹高の高い樹木ではなく草花類を主体とする構成としております。この回答はいかにも管理の手間を省くかという事業者側の一方的な価値観に基づく回答である。温室効果ガス削減、ヒートアイランド現象緩和、そして生物多様性ネットワークのためにも、樹木植栽の意義は高い。都市緑化、景観形成の観点からも、敷地内の緑化、植樹は重要であり、反対運動が起こっている点は1の問題とも絡み、その重要性からも、建物のセットバックをもっと取り、緑化に力を入れることで、圧迫感の軽減に努力したということぐらいの対応があってしかるべきであろう。

以上が 当方の見た感じですが、都市計画の上では現在の制度から仕方ないと諦めるのではなく、今後制度が変わるかもしれないという予見をもって、プロアクティブに、強気を出ていい案件と思いますので、その努力をされることを期待しています。